

妙安寺だより 359

開山 可観院日延上人 第350遠忌法要

平成26年5月25日、当山の開山可観院日延上人の第350遠忌の法要が行なわれました。今回は、その模様をお伝えすることにします。法要は3部構成で行なわれました。

第1部 遠忌法要

いろいろな行事には、天候を気にしますが、当日は気候もよくやや暑いくらいでした。

法要には、寺院として当山と関係のある正副干与人・法縁の寺院。日延上人の寺院の住職・副住職15名が出席。檀信徒は、遠く東京からの出席もあり50余名が出席されました。

午後1時、司会者の開式宣言で、住職を導師にお盆・お彼岸・御会式に出座の教師が式衆として、入堂して、かに350遠忌の法要が行なわれました。

法要は、読経・回向（＝日延上人をい、上人の生涯の業績をえる文＝を読み上げるところを、長時間立っていることができないので、回向の中に取り入れ、焼香（従来は時間の関係上、代表者のみでしたが、今回は出席者全員が焼香）に引き続き、挨拶に立野良顕宗務所長・栗原正典正干与人、お礼の挨拶には原田孝総代・住職が述べて、法要を終了、その後、導師と式衆は墓前においての回向。本堂前にて記念写真撮影。

第2部 記念講演

午後2時より、特別記念講演として、立正大学仏教学部の寺尾英智教授をお招きして、「清正公ゆかりの帰化人僧 可観院日延上人」と題して、いろいろな古文書や当山開山上人の所持の法華経・直筆のお曼荼羅などプロゼクターをして、日延上人の生涯を分りやすく話をされました。

第3部 食事会

午後4時より、食事会を西鉄グランドホテルにおいて開きました。

栗原正震前正干与人の挨拶、野出祐慎副干与人の献杯で食事会を開始。最後に畑次八総代の謝辞にて終了。70人の参加を見ておりましたが、それでも約60人の参加があり、初めての企画としては成功ではなかったかと思えます。なお、当日の記録写真は本堂への廊下に置いておきますので、御自由にごらん下さい。（撮影・柴田一繁 久家彰 戸川二郎各氏）